

● 外来診療のご案内 ●

(2024年10月1日現在)

	診療科	月	火	水	木	金
午前	消化器内科		三原 通晴	三原 通晴	*土亀 直俊	三原 通晴
	循環器内科	廣田 晋一	廣田 晋一	福田 仁也	廣田 晋一	*小國 哲也
		福田 仁也	三角 郁夫	三角 郁夫	宮本 信三	三角 郁夫
	代謝内科・糖尿病		*有馬 由佳	*大津 可絵	*櫻田 郁	
	呼吸器内科	鈴木 智子	鈴木 智子	*福嶋 一晃	鈴木 智子	*岡本 真一郎
	腎臓内科			*岡村 景子		
	外科				*熊大消化器外科	
	整形外科	*久重 雅由				
	脳神経外科	吉里 公夫	吉里 公夫	吉里 公夫	吉里 公夫	吉里 公夫
健診科	*土亀 直俊	*西村 由佳	*西村 由佳	*小阪 雅代	廣田 晋一	
午後	消化器内科	*平島 美幸				
	代謝内科・糖尿病				*櫻田 郁	
	整形外科	*久重 雅由				*高橋 慶亮

○当院では、再診予約制を行っております。診察時に次回予約をお取りください。
 予約変更等の問い合わせにつきましては、平日の午後（13：00～16：00）をお願いします。
 ○予約外の再来患者様へ：医師の学会等で休診がございます。前日確認の上、来院をお願いします。
 ※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

診察受付時間：平日／午前 8：15～11：30
 平日／午後 消化器内科（月曜日） 13：00～15：00
 代謝内科・糖尿病（木曜日） 13：30～15：00
 整形外科（月曜日） 14：00～15：30
 （金曜日） 13：00～16：00

休診日：土曜日・日曜日及び祝祭日
 年末年始（12月29日から翌年1月3日）
 ※急患の方は、救急担当医が24時間対応いたします。

公式HP



当院では、各医療機関との連携を推進しております。その窓口として「地域医療連携室」がございますので、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

■ 地域医療連携室

電話：TEL096-273-2111（代表）
 FAX096-272-2117（代表）

交通アクセス

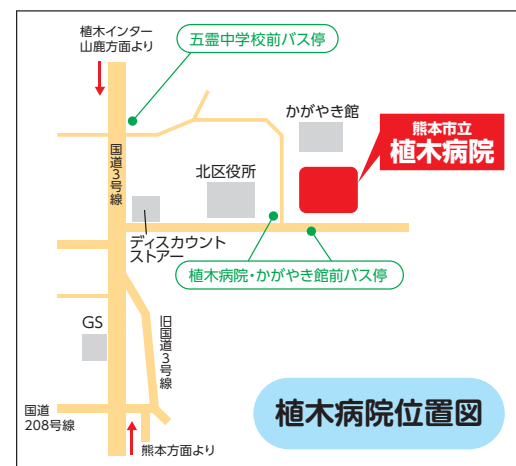


路線バス 九州産交バス「A4-1」「A4-2」「U2-1」：北区役所・小野泉水 行
 熊本電鉄バス「C4-4」「C4-5」：北区役所 行
 いずれも「植木病院・かがやき館前」バス停で下車



乗用車 ・熊本市中心部より30分
 ・山鹿市中心部より30分
 ・九州自動車道 北熊本スマートインターから5分
 植木インターから10分

植木病院位置図



編集後記

今年はオリンピック・パラリンピックがパリで開催されましたね。連日の熱戦に感動し、胸が熱くなりました。また、気温も全国的に上昇が続きました。室温管理や水分をこまめに取るなど、熱中症に気をつけましょう。

今年度、生理検査室に超音波機器が導入されます。これまで心エコー検査は1台で稼働していましたが、2台に増えることで待ち時間が短縮され、また詳細な観察が可能となります。患者様により良い医療を提供できるよう、私たちが尽力してまいります。

（検査部）



植木病院だより

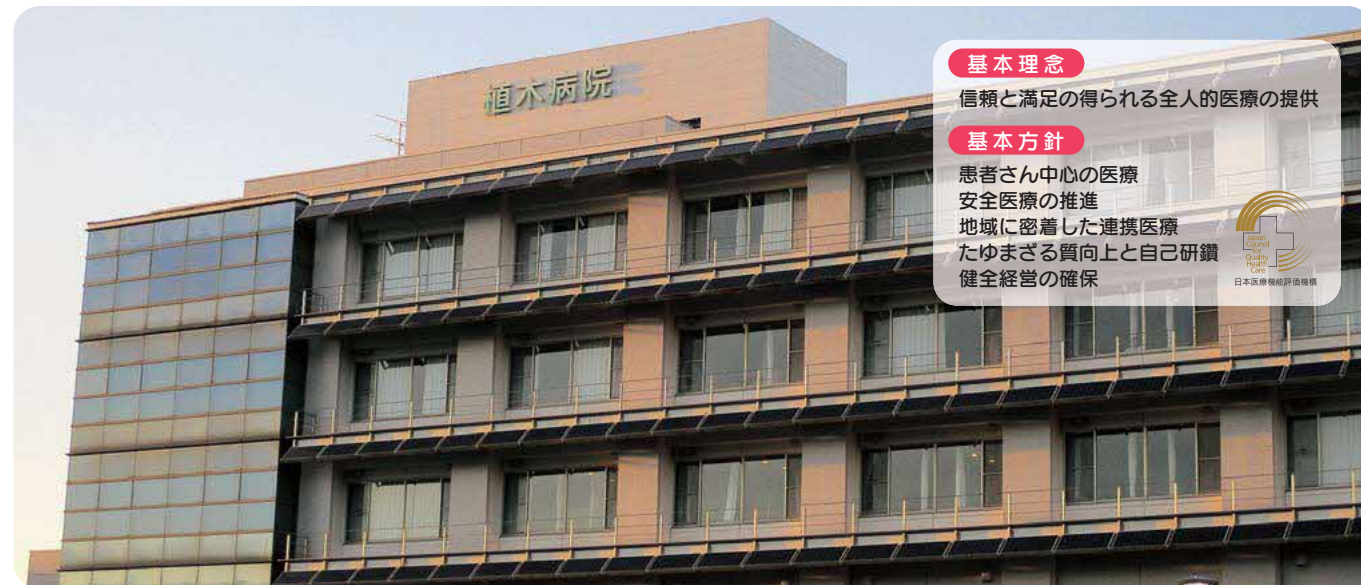
Vol.41
 令和6年秋



発行所 〒861-0136 熊本県熊本市北区植木町岩野285-29 熊本市立 植木病院
 TEL096-273-2111 FAX096-272-2117

発行人 三角 郁夫

公式HP



基本理念

信頼と満足の得られる全人的医療の提供

基本方針

患者さん中心の医療
 安全医療の推進
 地域に密着した連携医療
 たゆまざる質向上と自己研鑽
 健全経営の確保



インフルエンザと肺炎

熊本市立植木病院 呼吸器内科 部長 鈴木 智子

令和5年5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類になりました。5類への移行に伴い社会全体で感染対策の緩和が進むとともに、コロナ前の生活に戻りつつありますが、それに伴いこれまで減少していたインフルエンザの増加が懸念されています。インフルエンザに罹患してもほとんどの人は合併症なく軽快します。しかし、65歳以上の方や基礎疾患（慢性呼吸器疾患、心疾患、腎疾患、糖尿病など）がある方は、インフルエンザをきっかけとして肺炎（2次性細菌性肺炎）をおこすことがあります。頻度は、インフルエンザ全体で1～2%、健康成人では約0.5%、高齢者および何らかの感染症に罹りやすい要因をもった人では約2.5%と報告されています。

インフルエンザに感染すると気道粘膜が障害され、そこから細菌が肺に侵入しやすくなります。全身では炎症を起こす物質が増加し炎症が起こることで細菌に感染しやすくなります。微熱や咳が続く、インフルエンザ感染当初よりも息切れが悪化した場合などは肺炎になっている可能性もあり、早めに医療機関を受診し治療を開始することが必要です。肺炎の原因菌としては肺炎球菌がもっとも多い（29～48%）ことから、インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの両方を接種することで肺炎にかかりにくくなり重症化を防ぐことが期待できます。ワクチン接種に加え、日頃より、うがい、手洗い、マスク着用、規則正しい生活、持病の治療を行い感染予防に努めましょう。

★ワクチンの接種間隔と接種時期

ワクチンの種類	接種間隔	接種時期
インフルエンザ	毎年（年1回）	秋～冬
肺炎球菌	毎年ではない 接種間隔はワクチンの種類により異なる	季節は問わない
新型コロナ	毎年（年1回）	秋～冬

※新型コロナウイルス、インフルエンザなどウイルスによる感染症や肺炎球菌以外の細菌による感染症は、肺炎球菌ワクチンでは予防することができません。

● 予防接種（要予約）のご案内 ●

< 予約方法 >

◎ 電話予約の方

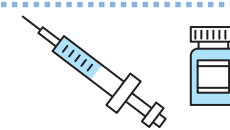
平日午後（13時から16時）に電話にてご予約ください。問診票は当日受付にてお渡しします。他院かかりつけの場合は接種可能であるか主治医への確認が必要となります。また、未成年（18歳未満）の方は保護者同伴をお願いします。

なお、小児（16歳未満）は受け付けておりません。

◎ 当院かかりつけの方

外来受診時に担当医に予防接種のご希望をお伝えください。

※新型コロナワクチンは、接種日の1週間前までの予約が必要です。

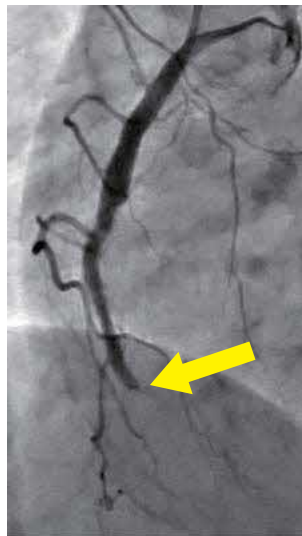


虚血性心疾患に対するカテーテル治療

熊本市立植木病院 循環器内科 部長 宮本 信三

熊本市立植木病院 循環器内科は、常勤医師4名、非常勤医師1名で急性心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患、心不全、心臓弁膜症、高血圧、不整脈、末梢動脈疾患など幅広い循環器疾患の診療を行っております。当院は日本循環器学会循環器専門医研修関連施設に認定されておりますので、将来、循環器専門医を目指す若手の先生方の研修を行うことが出来ます。数多くある循環器疾患の中で、私共が特に力を入れているのは急性心筋梗塞の治療になります。突然の持続する胸痛を主訴とする急性心筋梗塞の治療は一刻を争います。急性心筋梗塞の死亡率は一般的に約30%と言われておりますが、発症後6時間以内に治療を開始出来れば、死亡率を約10%まで下げることが出来ます。そのため出来るだけ早く治療が出来る医療機関に搬送する必要があります。当院には血管造影室がありますので、鹿本医療圏では唯一急性心筋梗塞に対する緊急経皮的冠動脈インターベンション(カテーテル治療)を行っております。それにより、熊本県の急性心筋梗塞急性期拠点病院および急性心筋梗塞回復期医療機関にも指定されております。病歴、胸部症状、心電図変化等から急性心筋梗塞が疑われる場合は、当科にご連絡いただけますと迅速に対応させていただきます。狭心症が疑われる場合は、外来で心電図、心エコー、運動負荷心電図、心臓CT検査等を行い、心臓を栄養する冠動脈に狭窄があるかどうかを調べます。さらに精査が必要な場合は、入院していただき、冠動脈造影を行います。冠動脈造影の結果、治療が必要な場合はカテーテル治療まで行っております。しかしながら、冠動脈病変が複数あり、病変形態が複雑あるいは高度石灰化がある場合には、外科手術が必要となりますので、熊本大学病院をはじめとする高度医療機関と連携して診療をすすめております。

地域の中核病院として、高度医療機関と連携を図りながら、地域の皆様に安心して暮らしていただけるような医療を提供し、皆様の健康維持と福祉の向上に貢献出来ればと考えております。どうか宜しくお願いいたします。



右冠動脈造影
*矢印は完全閉塞部を示す



冠動脈ステント留置



冠動脈造影 冠動脈ステント留置術後



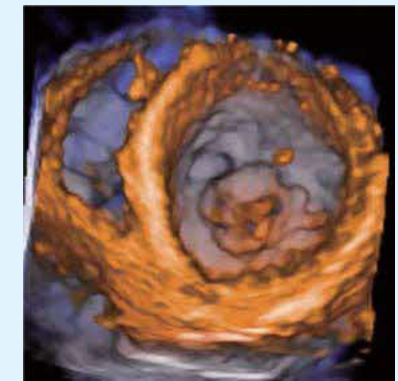
吸引カテーテルにより回収された冠動脈血栓

当院で施行した緊急経皮的冠動脈インターベンション(PCI)の1例

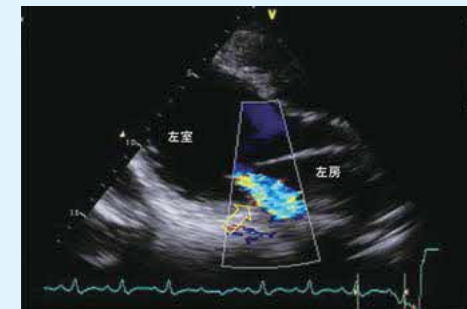
●心エコー装置更新のお知らせ●



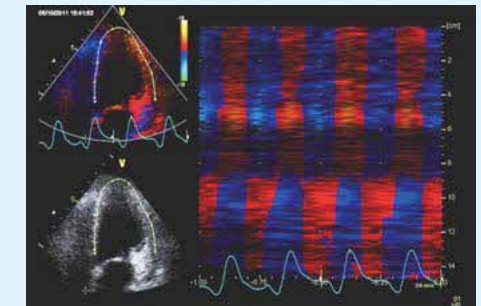
今回、10年振りに心エコー装置を更新します。心エコー検査は超音波を使って心臓を写し出します。X線の被爆がなく、簡単に行えるため病気の診断はもちろん、治療後の経過観察に幅広く活用されています。10年前に比べ性能は格段によくなっています。以下にその例をお示しします。



3Dエコー
心臓を3次元でみることができます。



心臓弁膜症
図では僧帽弁閉鎖不全では左室から左房へ逆流する血流を認める。



心臓の動きをカラーで表せます。
左図の心臓の黄色で引いた線の任意の部位の動きを右側の図(カラーMモード)にあらわしています。

マイナンバーカード保険証を、ぜひご利用ください!

法令の改正により、令和6年12月2日をもって現行の健康保険証の新規発行は終了し、マイナンバーカードでの保険証利用を基本とする仕組みに移行します。(12月2日時点で有効な保険証は、最大で1年間有効とする経過措置が設けられています)

まだマイナ保険証をお持ちでない方は、ぜひ「マイナンバーカードを取得」し、「マイナンバーカードの健康保険証利用登録(当院でも可能です)」を行ってください。なお、お持ちでない方にもマイナ保険証のメリットを得ることはできませんが、引き続き安心して医療を受けていただけるよう「資格確認書」が発行される予定です。詳しくは各保険者へお問合せください。

健康教室を開催します

内容：高血圧について
日時：令和6年11月27日(水)
13:30～14:30
会場：植木病院 1階 ロビー
講師：熊本市立植木病院
院長 三角 郁夫
対象：どなたでも

※事前申し込みは必要ありません。
当日、直接会場へお越しください。
マスクの着用をお願いします。
皆様のご参加をお待ちしております。